

前回会議後の検討事項について

● 3歳児半検診・5歳児検診について（平成30年2月開催 会議資料より抜粋）

委員ご意見	津島市見解
<p>3歳だとまだわからない児童が多く、事前に練習する児童もいるが、うまくいかずに検診が終わってしまう場合もあり、検診の意味がない。せめて3歳児半なら検診の意味が出るのではないか。</p>	<p>3歳児検診では目と耳の検診を行うが、目は3歳半までに、耳は3歳2カ月までにやらないと時期が遅くなってしまふ。3歳2カ月で行う自治体もあるが、津島市では3歳とし、未受信児を減らす方向に力を入れていく。</p>
<p>小学校就学前の5歳児検診があれば、発達障害を抱えている親御さんにも受け入れてもらう可能性が高まり、小学校へのスムーズな移行が期待できるのではないか。</p>	<p>5歳児検診は蟹江町が名大のモデル事業として実施しているが、発達支援の専門医を確保したり、臨床心理士でチームを組む・事務量が膨大になる等の現場の負担がかなり大きく、全国的に見れば縮小傾向である。また、5歳児検診でひっかかると大変というような噂が保護者間で広まり、未受診率が高くなってしまふ。 津島市では就学前検診の前に巡回型教育相談を行っており、小学校へのスムーズな移行を図っている。</p>

● 平成30年2月開催 会議議事録より抜粋

（委員）

3歳児健診の件で、3歳半という形で今回お答えいただいたんですけども、1月に私の娘が3歳児健診を行いました。目は3歳半までに、耳は3歳2か月までにと書いてあるんですけども、健診といってもお医者様が来るわけではありません。親がチェック項目を記載して、それを保健師さんが判断しての、チェックという形になります。目の方も「C」という形があると思うんですけども、そちらを家で子どもに見えるかどうかという形しかやっていないので、健診というのに値をするのかなと思いました。

専門医の方がいないので、親の判断がチェックのところで間違っていれば、ちょっと発見も遅れるのかなと思いますので、この辺は見解としてはいかがなものかなと思います。

（会長）

いかがでしょうか。

（事務局）

健康推進課の方に聞いて、又聞きという形になって申し訳ないんですけども、健診のあり方について、今お聞かせいただいた通り、親御さんの負担が大きい部分が

あるのかなと思っております。それ以外にも健診のあり方について意見がまだ今後多々出てくるんじゃないかなと思います。

今回会議の資料として提示したのは、前回頂いた宿題にお答えするという形で提示させて頂きましたので、また宿題いただいて、また同じように事務局がお返ししてもいいんですけども、それよりは、例えば今度の夏の子ども・子育て会議の場で健診をテーマにして、保健師さんに出席していただく方向で検討させていただきたいと考えております。

(会長)

ありがとうございます。おそらく保護者がやるということで、やりやすいやり方とか工夫とか考えられると思うので、保護者の方がやるにしても、そういった工夫も取り入れたりとか、工夫の方向性はいろいろあると思いますので、保健師さんにも出席していただければ心強いかなと思っております。